

～城東北地域活動委員会報告ニュース～

寝屋川北部地下河川 城北立坑^{たてこう}インフォメーション見学に行ったよ！！

城東区関目地域で工事中の地下河川立坑を見学し、地下河川について、寝屋川水系の洪水対策について学びました。①市街地(都市)の洪水対策について、②立坑がどのようにして作られるのか のビデオを見て学習。インフォメーションセンターの窓越しに工事現場の外観を見学。夏休みで小中学生の参加もあり、スケールの大きさに驚いた見学になりました。



寝屋川北部地下河川とは

市街化が進展した寝屋川流域では、河川の拡幅や新川の整備が困難であることから、地下空間を有効に活用して地下河川を築造しています。



真上から撮影した立坑工事現場

学んだ事

- ・寝屋川流域の洪水対策の一環として地下河川の建設があり、立坑がその工事の拠点、入口になる事を知った。
- ・立坑の大きさは深さ100メートルもあり、通天閣がすっぽり入る大きさです。
- ・地下河川の完成までは まだまだ時間がかかりますが、身近な所で工事が進んでいる事を知りました。
- ・地盤沈下や地上の建物に影響がないか等 検査しながら慎重に工事が進められており安心です。



工事現場には巨大な重機が！

参加者の感想



- ・自宅近くでの工事、気になっていました。ビデオや現場を見せて頂き様子がよくわかった。
- ・何箇所も立坑があり、地下でつながり地下河川となり、私達の町が洪水から守られていることがわかり安心した。
- ・豪雨が増えているので、治水対策について学ぶ機会があり良かった。
- ・実際に工事現場を見て 立坑の大きさがすごすぎて驚きました。クレーンでつかんでくる土の量がトラック1台分とは、すごいスケールです。



パネル展示もあったよ！

私たちができる治水対策



- ①できるだけ土や植物を残しておく
- ②大雨時、大量の水を流さない
- ③排水口の掃除をする

